

「生活道路対策エリア」の取組事例(大和高田市陵西校区大谷地区の事例)

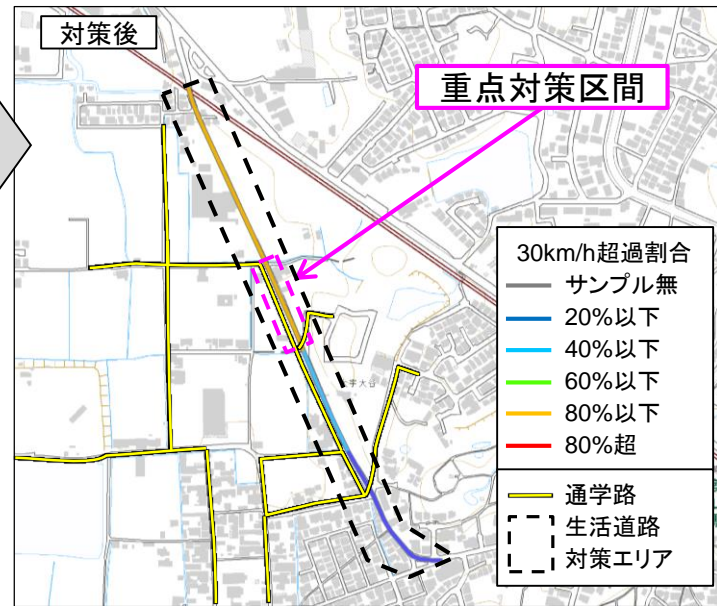
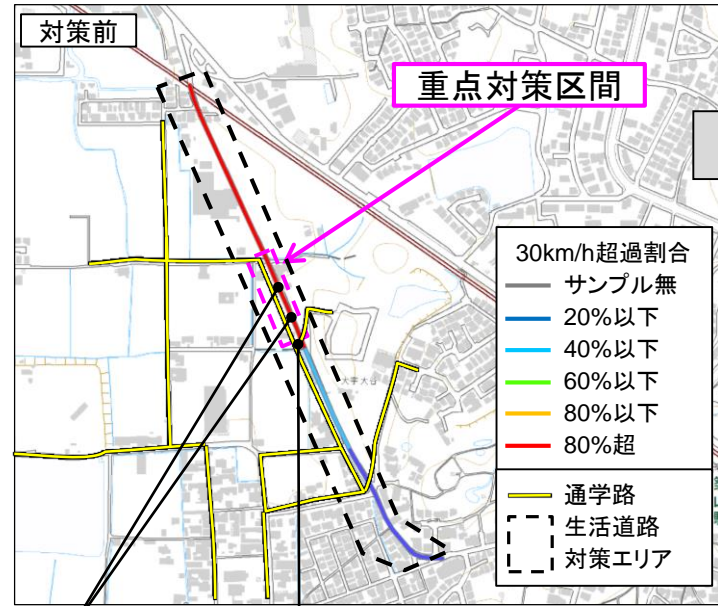
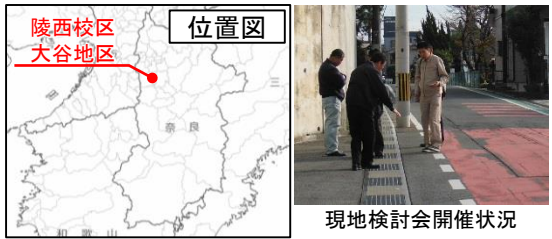
おかにし おおたに

〔ハンプ・カラー舗装
ラバーボール〕

- 現地検討会を開催し、通学路も含まれる対象区間において30km/h超過割合が高いことを確認・共有。
- 規制速度を40km/hから30km/hに変更するとともに、物理的デバイス(ハンプ2箇所設置)による速度抑制対策を実施。
- ハンプ設置区間(重点対策区間)において、30km/h超過割合が約20ポイント、平均速度が約7km/h減少するなど大幅な速度抑制効果が発現。

取組概要

ビッグデータ分析結果

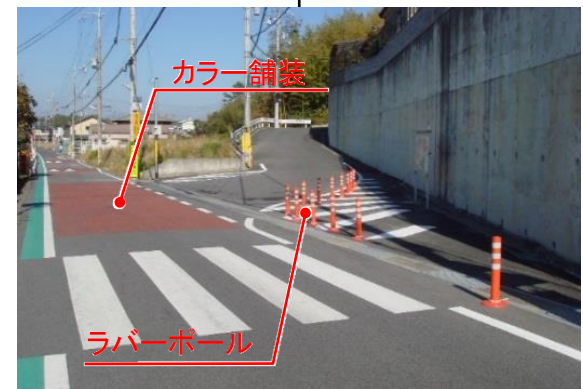


○検討会の開催
大和高田市通学路交通安全協議会を活用しつつ、地域と協働で対策を検討。

H28.12：関係機関による現地検討会を開催
H29.02：速度規制を40km/hから30km/hに変更
H29.03：ハンプ(2箇所)、カラー舗装、ラバーボール設置
H30.08：奈良国道事務所、高田警察署、市役所(生活安全課、道路管理課)など関係機関において検証

整備状況

整備効果



	30km/h超過割合		平均速度	
	エリア全体	重点対策区間	エリア全体	重点対策区間
対策前	58.7%	82.9%	31.8km/h	38.9km/h
対策後	53.0%	61.2%	29.8km/h	32.2km/h

(▲5.7%) (▲21.8%) (▲2.0km/h) (▲6.7km/h)

【出典】1.履歴点データ：ETC2.0プローブデータ 【対策前】H27.7~H28.12、【対策後】H29.4~H30.9
2.背景地図：国土地理院